

令和7年事業年度「地域公共交通確保維持事業」の自己評価について

1 内容

市内を運行する広域幹線及び都市核間幹線のバス路線の一部は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業」による補助金を活用して維持されています。

この補助金の交付を受けた路線については、毎年度、各市町の法定協議会（本市では「山口市公共交通委員会」）が事業評価等を行い、その結果を地方運輸局に報告し、公表することとされています。

これまで、事業評価等については、山口県生活交通確保維持改善協議会（事務局 山口県交通政策課）が行っていましたが、令和7年事業年度からは、法改正により各市町の法定協議会にて行う必要があるため、この度、委員の皆様にお諮りするものです。

2 事業評価の目的

地域公共交通計画（本市では「第二次山口市市民公共交通計画」）に位置付けられた補助対象路線について、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の自己評価を行うことにより、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的としています。

3 令和7年事業年度「地域公共交通確保維持事業」におけるスケジュール

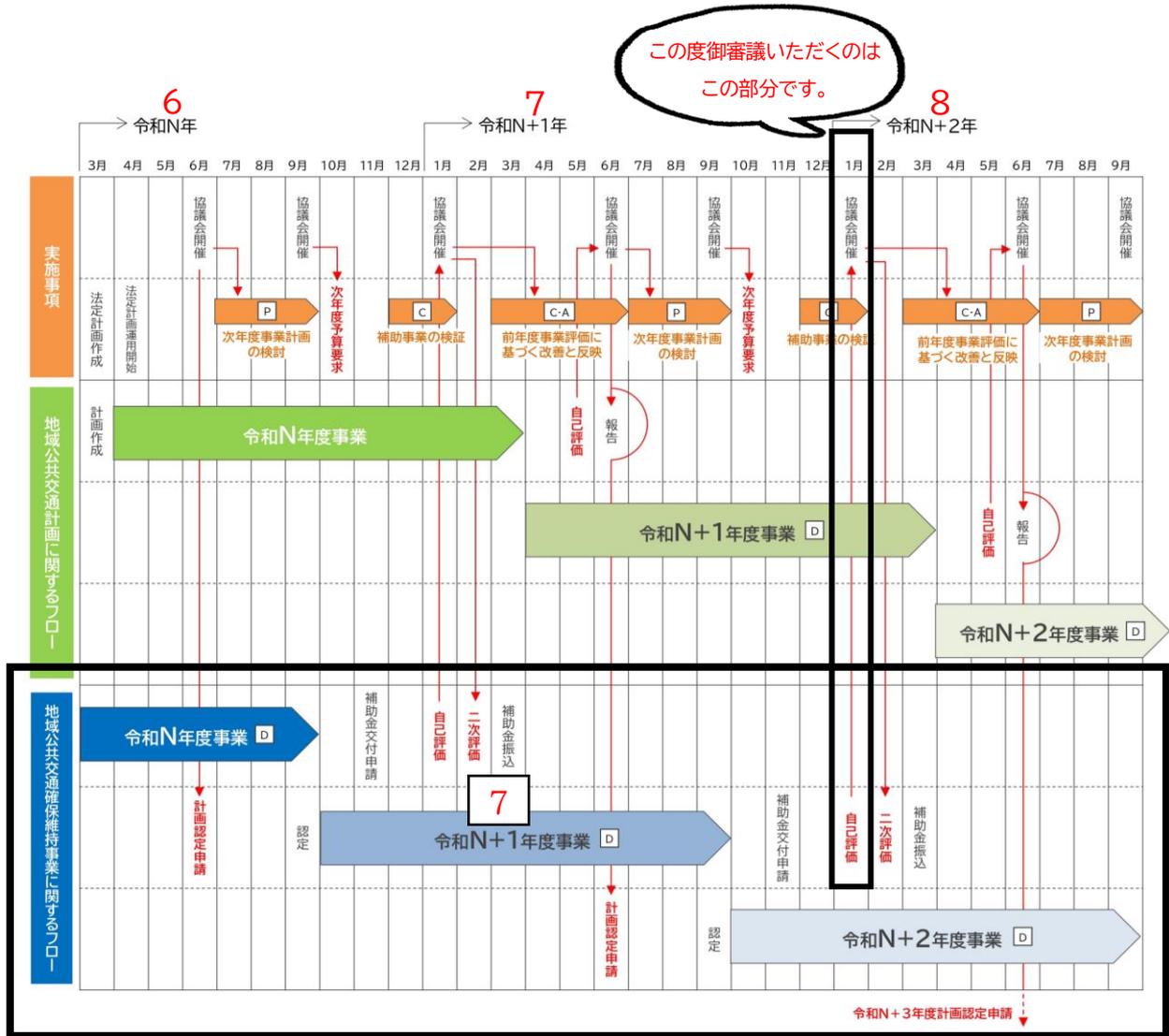
（※スケジュールの流れについては「別紙（1）」をご参照ください。）

時期	項目	内容
令和6年6月	計画認定審査	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度第2回山口市公共交通委員会にて書面審査のうえ、承認 その後、国から認定を受ける
令和6年10月～ 令和7年9月	事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年事業年度事業の実施
令和8年1月	自己評価 (一次評価)	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度第3回山口市公共交通委員会にて書面審査 <u>今回の議事事項です</u>
令和8年2月(予定)	二次評価	<ul style="list-style-type: none"> 中国運輸局において実施予定

4. 協議資料

- ①別添1 「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」
- ②別添1-2 「事業実施と地域公共交通計画等との関連について」
- ③別添3 「令和7年度地域公共交通確保維持改善事業 事業評価」及び
「山口市公共交通委員会 地域公共交通計画（地域間幹線系統）の概要」
- ④地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（令和7年度）

地域公共交通計画と補助制度の連動化に伴うPDCAサイクルのイメージ



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名: 山口市公共交通委員会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
防長交通(株)	堀～中山～防府駅前		A 計画通り事業は適切に実施された。	B 収支率は計画値を下回ったが輸送量は計画値を上回り(輸送量+1.7人/日)、輸送量15人/日は維持された。(収支率△14.4%) 公的負担額は昨年度比で増加し、計画目標値の達成に向けての課題となった。	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。 バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。
	堀～和字～防府駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 計画に位置付けられた目標を達成できず、輸送量は目標12.6人/日に対し10.7人であった。(収支率△33.0%) 公的負担額は前年度比で増加し、計画目標値の達成に向けての課題となった。	
	県庁前～西京橋～新山口駅	利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。 交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 収支率は計画値を下回ったが輸送量は計画値を上回り(輸送量+9.7人/日)、輸送量15人/日は維持された。(収支率△1.1%) 公的負担額は前年度比で増加し、計画目標値の達成に向けての課題となった。	
	スポーツの森前～西京橋～新山口駅		A 計画通り事業は適切に実施された。	B 収支率は計画値を下回ったが輸送量は計画値を上回り(輸送量+5.4人/日)、輸送量15人/日は維持された。(収支率△1.6%) 公的負担額については前年度比で減少し、計画目標値達成に向けて前進があった。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
防長交通(株)	宮野温泉～西京橋～新山口駅	関係自治体と連携して利用し 易いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り 方教室の開催、学生フリー乗 車券、小児運賃一律50円キャ ンペーン等PRに取り組み利用 促進を図った。 利用者の利便性を向上させる ため、バスロケーションシステ ム活用について周知を図った。 交通ICカードシステムのPRなど を積極的に行い、利用促進に 努めた。	A	計画通り事業は適切に実 施された。	B 収支率は計画値を下回った が輸送量は計画値を上回り (輸送量+0.3人/日)、輸送 量15人/日は維持された。 (収支率△16.3%) 公的負担額は前年度比で 増加し、計画目標値の達成 に向けての課題となった。	引き続き、バス利用促進に繋 がるよう、ダイヤ改正等を行 い、関係市町と連携して利用し 易いバスを目指していく。 また、各イベントへの参加、バ ス乗り方教室の開催、学生フ リー乗車券、小児運賃一律50 円キャンペーン等PRを継続的 に努め、利用促進を図る。 バスロケーションシステム、交 通ICカードシステムを幅広く周 知し、新規利用者の獲得に努 める。
	道の駅仁保の郷～宮野温泉・ 西京橋・県庁～新山口駅		A	計画通り事業は適切に実 施された。	B 収支率は計画値を下回った が輸送量は計画値を上回り (輸送量+2.4人/日)、輸送 量15人/日は維持された。 (収支率△11.9%) 公的負担額については前 年度比で減少し、計画目標 値達成に向けて前進があっ た。	
	県庁前～西京橋・新山口駅・長 浜～秋穂荘		A	計画通り事業は適切に実 施された。	B 収支率は計画値を下回った が輸送量は計画値を上回り (輸送量+2.0人/日)、輸送 量15人/日は維持された。 (収支率△6.8%) 公的負担額は前年度比で 増加し、計画目標値の達成 に向けての課題となった。	
	県庁前～西京橋・リハビリ・権 現堂橋・山手～新山口駅		A	計画通り事業は適切に実 施された。	B 収支率は計画値を下回った が輸送量は計画値を上回り (輸送量+5.2人/日)、輸送 量15人/日は維持された。 (収支率△6.7%) 公的負担額は前年度比で 増加し、計画目標値の達成 に向けての課題となった。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
防長交通(株)	新山口駅～大田～東萩駅前	<p>関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。</p> <p>各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送量・収支率ともに計画値を下回ったが、輸送量15人/日は維持された。(収支率△13.7%) 公的負担額は前年度比で増加し、計画目標値の達成に向けての課題となった。	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。
	新山口駅～十文字～秋芳洞	<p>利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。</p> <p>交通ICカードシステムのPRなどを積極的に行い、利用促進に努めた。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送量・収支率ともに計画値を上回り、15人/日は維持された。(輸送量+19.8人/日、収支率+30.8%) 公的負担額は前年度比で増加したが、輸送量・収支率の目標達成により、負担額上昇は抑えられている。	バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
宇部市交通局	新山口線(特急) 宇部新川駅～山口宇部道路～新山口駅		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業計画に位置付けられた目標(収支率1.0%改善)を達成できなかったが輸送量15人/日は維持された。経常収支率48.22% ※前年度補助対象系統としていないため、公的負担額の評価はしない。	引き続き、バス利用促進につながるよう、時刻表の改善や各種イベントへの参加、乗り方教室の実施等により、PRに努める。 バスロケーションシステムの改善や、SNS等を活用した情報発信を強化していく。 ICカード利用率向上のため、乗り方教室など、直接体験できる機会を増やしていく。 宇部市の政策により市内の小中学生のバス運賃が無料化しているが、親世代含めてバスの利用方法がまだ浸透できていない。全世帯(特に親世代)をターゲットに利用方法を周知させる必要あり。
	新山口線(普通) 宇部新川駅～サンパークあじす・東岐波商業団地前～新山口駅	路線維持のため、バス停車表の停留所掲示や時刻冊子の配布など、PRに取り組んだ。 路線バス100円デー(宇部市主催)への参加や、感謝デー(全線1乗車100円)の実施により公共交通の利用促進に取り組んだ。 主に小学生に乗り方教室を実施し、生活交通路線の利用促進に取り組んだ。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業計画に位置付けられた目標(収支率1.0%改善)を達成できなかったが輸送量15人/日は維持された。経常収支率68.76% ※公的負担額は、前年度、今年度ともに発生していないため、評価はしない。	
	阿知須線 宇部新川駅～今村～サンパークあじす	バスロケーションシステムによる情報提供の充実に努めた。 ICカード利用促進のため、紙式回数券の廃止や乗継割引の拡大を実施した。JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業計画に位置付けられた目標(収支率1.0%改善)を達成できなかったが輸送量15人/日は維持された。経常収支率49.84% 公的負担額は前年度比で増加し、計画目標値の達成に向けての課題となった。	
	阿知須線 宇部新川駅～今村・ミスターマックス宇部店～サンパークあじす		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業計画に位置付けられた目標(収支率1.0%改善)を達成できなかったが輸送量15人/日は維持された。経常収支率58.77% 公的負担額は前年度比で増加し、計画目標値の達成に向けての課題となった。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
JRバス中国株式会社	D74 山口駅～昭和町・ゆめタウン山口～防府駅	市が発行する時刻表に交通系ICカードシステム(ICOCA)利用方法を掲出し、リーフレットやチラシ配布等を実施し、学期休み中のこども50円バス実施の周知を行うことでバスの利用促進に繋がった。その他、イベント開催時の迂回情報を当社HPに掲載することで利便性の向上を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた収支改善目標率45.1%に対し、実績は44.1%と達成できなかったが、輸送量15人/日は維持された。公的負担額については前年度比で減少し、計画目標値達成に向けて前進があった。	引き続き関係行政など地域との連携を図り、バスの乗り方や運行情報提供を行い、公共交通への転嫁を促すことで、恒常的なバス利用に繋げる。
	D77 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～中尾口		A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた収支改善目標率43.8%に対し、実績は39.9%と達成できなかったが、輸送量15人/日は維持された。公的負担額は前年度比で増加し、計画目標値の達成に向けての課題となった。	
	D109 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通～山口大学		A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた収支改善目標率56.5%に対し、実績は50.7%と達成できなかったが、輸送量15人/日は維持された。公的負担額については前年度比で減少し、計画目標値達成に向けて前進があった。	
	D127 山口駅～県庁・野田・明倫センター～東萩駅		A	計画どおり事業は適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた収支改善目標率25.8%に対し、実績は27.5%と達成出来た。公的負担額については前年度比で減少し、計画目標値達成に向けて前進があった。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名: 山口市公共交通委員会
 評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
防長交通(株)	ノンステップバス 28両導入 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両 ・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大島駅～周防久賀～町立橋医院前 ・大島駅～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋～新山口駅 ・スポーツの森前～西京橋～新山口駅 ・宮野温泉～西京橋～新山口駅 ・道の駅仁保の郷～宮野温泉・西京橋・県庁～新山口駅 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 令和7年9月末時点で、ノンステップ型車両比率が69.7%(124両)となった。	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。
宇部市交通局	ノンステップバス11両導入 令和3年度導入数=1両 令和4年度導入数=2両 令和5年度導入数=3両 令和6年度導入数=3両 令和7年度導入数=2両 新山口線 阿知須線 小野田線	計画通り低床車両の導入が図れるよう努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 令和7年9月末時点でノンステップバスの比率が75.44%(43両)となった。	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。

事業実施と地域公共交通計画等との関連について

令和8年1月 日

協議会名：	山口市公共交通委員会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>山口市において、本市と周辺都市(防府市、萩市、美祢市、宇部市)を結び広域移動を支える広域幹線、及び山口都市核と小郡都市核間を結び高頻度で利便性の高い交通手段としての都市核間幹線は、通勤通学、買い物、通院等の日常生活の行動だけでなく、観光、ビジネス等、多様な目的での移動を担うものであり、他モードや地域内交通と連絡し、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っている。</p> <p>しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、さらに新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年以降利用者数は大きく減少しており、現在も新型コロナウイルス感染拡大前の状況には回復しないまま推移し、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。</p> <p>このため、地域の中核的な医療機関や学校、市役所支所等の公共施設など、利用者のニーズに対応した、市民の日常生活に必要不可欠な移動手段を基幹交通として捉え、その役割を果たすために必要なバス路線の維持・確保をしていく必要がある。</p>

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

山口市公共交通委員会 地域公共交通計画(地域間幹線系統)の概要

協議会の構成員

- ・山口市 ・学識経験者(3名) ・山口市自治会連合会 ・公募市民(2名) ・中国運輸局山口運輸支局
- ・中国地方整備局山口河川国道事務所 ・山口県観光スポーツ文化政策課
- ・山口県警 ・山口県防府土木建築事務所 ・西日本旅客鉄道(株) ・山口市社会福祉協議会
- ・山口商工会議所 ・防長交通(株)、JRバス中国(株)、宇部市交通局 ・(有)嘉川タクシー、島地タクシー(有)
- ・その他委員長が必要と認める者

協議会の開催状況

4回 (うち書面審議 4回)

【事業の目的・必要性】

本市と周辺都市を結び広域移動を支える広域幹線、及び山口都市核と小郡都市核間を結び高頻度で利便性の高い交通手段としての都市核間幹線は、通勤通学、買い物、通院等の日常生活の行動だけでなく、観光、ビジネス等、多様な目的での移動を担うものであり、他モードや地域内交通と連絡し、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っている。

しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、さらに新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年以降利用者数は大きく減少しており、現在も新型コロナウイルス感染拡大前の状況には回復しないまま推移し、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。

このため、地域の中核的な医療機関や学校、市役所支所等の公共施設など、利用者のニーズに対応した、市民の日常生活に必要な不可欠な移動手段を基幹交通として捉え、その役割を果たすために必要なバス路線の維持・確保をしていく必要がある。

【事業の区域】

- ・山口市全域

【事業の目標と効果】

【目標】

路線バス利用者数について、地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し利用促進を図ることで、山口市地域公共交通計画に掲げる成果指標「路線バス利用者数」の目標値(R9年度)「245万人/年」の達成を目指す。

路線バス収支率について、山口市地域公共交通計画に掲げる成果指標「市内の乗合バス事業の経常収支率」の目標値(R9年度)「55.0%」の達成を目指す。

路線バス行政負担額について、山口市地域公共交通計画に掲げる成果指標「公共交通を維持するための行政負担額」の目標値(R9年度)「219,541千円」(R5年度実績を基準とした現状維持)を目指す。

老朽車両の代替としては、超低床ノンステップバスを予定しており、令和6年9月末時点における低床車両比率は72%(129両)の見込みであるが、これを令和7年9月末までに75%以上(134両)とする。(防長交通)

ノンステップバス比率を令和6年9月末時点の69.4%(43台)から令和9年9月末までに77.4%以上(48台以上)とする。(宇部市交通局)

【効果】

地域間幹線バスシステムを維持することにより、地域で生活する移動制約者の生活に必要な不可欠な交通手段が確保される。また、広域的・幹線の系統と地域的・支線の系統の有機的な連携により、効率的な地域交通網が形成され、市民の社会参加促進や地域活性化にもつながる。

車両取得については、新たに車両を取得することにより、地域間幹線バスシステムの維持や、地域で生活する高齢者をはじめとする移動制約者の日常生活に必要な不可欠な移動手段の確保の一助となる。さらには、市民の社会参加促進や地域活性化にもつながる。定量的な事業の目標を導入することにより、収支改善に結びつけることが期待できる。

山口市

令和7年度分

事業者数

系統数

車両減価償却費 車両数

3

18

26(4)

* 車両減価償却費車両数の()は、当該年度に購入した車両数(内数)

この1年間の 利用者・地域住民の意見の反映

○山口市総合時刻表に設けている「ご意見・ご要望」の項目や、市ウェブサイトの問合せフォームを通じて利用者等の意見の集約を行っている。これらの意見を当該交通事業者に情報提供し、利用者の利便性向上につなげるようにするとともに、生産性向上の取組結果を検証し、今後の改善につなげていくことにより、交通弱者の方々の移動手段として必要なバスシステムの確保・維持を図っていくこととする。

<意見>

・朝の通勤・通学の時間帯について、乗車人数が多いため乗車できないことがある、また、渋滞等の影響により定時運行できない状態にあるので、運行改善を図っていただきたい。

・高齢者の利便性向上のため、運行回数の変更を検討していただきたい。

・バスロケーションシステムの不具合を解消していただきたい。

事業の適切性

○計画通り事業は適切に実施された。

目標・効果達成状況

○概ね計画どおり運行し、利用者の利便性は確保された。

○輸送量は計画値を上回り、輸送量15人/日は維持されたものの、収支率は計画値を下回った路線が多く見られた。

○車両取得については、一部において数値目標が完全には達成されていないものの、計画に沿った低床車両の導入が図られた。

今後の改善点

○ダイヤ改正等を行い、交通事業者と行政とで連携して利用し易いバスを目指していく。

○各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRの継続

○バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知することによる新規利用者の獲得

○交通事業者と行政の連携を図り、バスの乗り方や運行情報提供を行い、公共交通への転嫁を促すことで、恒常的なバス利用に繋げる。

取組事例1

利用しやすい公共交通環境の整備（1）

●わかりやすい公共交通情報の提供

誰もが容易に公共交通情報を得られるよう、市内の鉄道、バス、コミュニティタクシー等を網羅した総合時刻表や公共交通マップを発行。



●バスロケーションシステムの導入支援

バス利用者が正確な運行状況を把握することで、バスを安心して利用できるよう、国・県とともにバスロケーションシステムの導入を支援。

■バスの利用には…
「バスロケーションシステム」
バスの到着予想時刻やその路線の行き先などが分かる便利なシステムです。各社とも無料で利用できます。是非ご利用ください。

バスイット



防長交通

くるげん



JRバス中国

うべバスナビ



宇部市交通局



●交通系ICカードの導入支援

市民や来訪者の移動の円滑化のため、国・県とともに交通系ICカードの導入を支援。



●待合・乗継環境の整備

商業施設等との連携や結節点へのバスロケの設置、中山間地域型パーク・アンド・ライドである「置くとバス」や、サイクル・アンド・ライドの整備などの推進。



●利用しやすいバス路線網の確立

バスのルート及びダイヤ、便数を見直し、わかりやすく利用しやすいバス路線網の確立。

●バリアフリー車両の導入支援

誰もが利用しやすい低床バスやユニバーサルデザインタクシー等の導入。

● サイクル・アンド・ライド

お住まいの場所から自転車で、バス停や駅などの近隣に整備された乗り換え用駐輪場（サイクル・アンド・ライド駐輪場）まで行き、公共交通に乗り換えて目的地まで行く方法。



● 置くとバス駐車場（パーク・アンド・ライド）

住み慣れた地域内は自分で運転できても、地域外に運転して行くのは不安という、主に中山間地域の高齢者を対象に、車を置いて公共交通（バス・鉄道等）に乗り換える際に利用できる駐車場を整備。



取組事例3

運転士確保事業

【運転士不足の現状】

山口市公共交通委員会において、令和7年4月に行った調査では、山口市内で現状の交通サービスを維持するための運転士の不足数は、バス運転士が3社で17人、タクシー運転士が14社で49人不足と深刻な状況であることが分かる。現状維持のために不足数分の時間外勤務や休日出勤等の負担が生じており、このまま進行すると路線の縮小やサービスの低下などが予測される。そのため、同委員会や交通政策課では、運転士確保事業として以下の取組を行っている。

●バス・タクシー運転士体験会

バス・タクシーの車両や現役運転士と接する機会を設けることで、交通事業への理解を深め、就業へのきっかけづくりとすることを目的として、平成30年度からコロナ禍を除き毎年開催し、実際の採用につながっている。

●バス・タクシー運転士確保支援事業

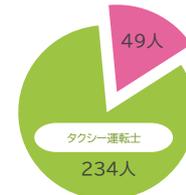
バス・タクシー運転士の運輸・物流業における「2024年問題」に対応するための緊急対策事業として、令和6年度に、市内の路線バス・タクシー事業者（営業所を含む）の運転士として就労（正規雇用）された市内在住者に対する20万円の助成制度を創設（令和7年度も実施）。



山口市で現状の交通サービスを維持するための運転士の不足数
(令和6年4月現在)



山口市で現状の交通サービスを維持するための運転士の不足数
(令和7年4月現在)



出典 交通政策課による事業者聞き取り

取組事例4

マイカーに頼り過ぎない意識づくり

●公共交通教室の開催

公共交通に対して興味や親しみを持ってもらえるよう、子どもや高齢者などを対象に、公共交通におけるマナーや乗り方、心のバリアフリーを学習する公共交通教室を開催



●ノーマイカーデーの実施

公共交通の利用促進・確保維持に向けたノーマイカー通勤の習慣化拡大を目的に、市内事業者や商工団体等との連携によりノーマイカーデーを実施。参加への意識を高めるきっかけづくり、動機づけや、参加しやすい環境の構築を行う。

令和7年度 (2025年度) 毎月月末金曜日は

山口市 ノーマイカーデー No My Car Day

山口市では、バスや鉄道の利用促進や二酸化炭素削減、交通渋滞の緩和、交通事故の防止に向けて、毎月月末金曜日に山口市ノーマイカーデーを実施しています。

山口市ノーマイカーデーに 参加登録して、 山口市ノーマイカーデー バス半額カード を手に入れよう!

参加登録はこちらの 二次元コードから!

対象：山口市民及び市内の事業者・団体・学校に通勤・通学する方
※個人・事業者・団体・学校単位で参加を受け付けます。

特典 サービス

バス半額カードの特典サービスをご案内いたします。

バス半額カードの特典サービスをご利用ください。

店舗・施設はこちら!

デジタル版「バス半額カード」を 3ステップで 手に入れよう!

① 参加登録の二次元コードを撮影! ② 参加申込を入力 ③ 登録したメールアドレスに届いたURLをクリックして表示!

※参加登録方法や特典の詳細、詳しくは「山口市ノーマイカーデー」をご覧ください。またはこちらからお問い合わせ / 山口市公共交通委員会 (事務局: 市交通政策課) TEL: 083-934-2729

●モビリティ・マネジメントの実施

子育て世代や学生、市内事業者、経済団体など、ターゲットを明確にして、セミナーや乗車体験等を実施することで、過度にマイカーに頼る状態から、公共交通や自転車などを上手に利用することの習慣化を促すモビリティ・マネジメントを実施。

ワクワクいっぱい! 路線バスに乗って 冒険しよう!

～街中をめぐるスタンプラリー～

2025年、12/7日 9時-15時半

アクセスポイントを回って景品をゲットしよう!

午前は、路線バスを使って街中を巡るスタンプラリー。 午後は、YCAM館内ツアープログラムに参加します!

Check! 参加要件

① 対象 小学生から6年生まで ② 料金 700円程度(昼食代) ③ 持参品 水筒、子ども用交通系ICカード

事前・事後アンケート及び交通系ICカードの事前準備に 参加いただける方が対象となります!

申込 申込締切: 令和7年10月31日 (金)

右の二次元コードから お申し込みください。 詳細は、市ウェブサイトから!

【主催・お問合せ】 山口市公共交通委員会事務局 (山口市交通政策課内) 山口大学 公共交通利用促進学生会議 TEL: 083-934-2729

事業者名	防長交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考
						計画	取組実績	
山口市公共交通委員会	12	堀防府駅前	堀	中山	防府駅前	【取組内容及び実施時期】 全国相互利用可能なICカードシステムの利用促進・周知徹底 【実施主体】 防長交通(株) 【効果目標】 上記の取組により、バス利用者の移動利便の向上を図り、収支率が1%増加させる。	【取組実績】 交通系ICカードシステムの利用促進を行い、移動利便の向上を図った。 【取組効果】 上記の取組んだ結果、 申請番号12は、経常収益が1,125千円減少した為、収支率が48.3%(-0.3)に減少した。 申請番号13は、経常収益が751千円増加したが、収支率が32.5%(-1.3)に減少した。 申請番号14は、経常収益が3,263千円増加したが、収支率が80.8%(-0.7)に減少した。 申請番号15は、経常収益が2,109千円増加したが、収支率が79.6%(+5.5)に増加した。 申請番号16は、経常収益が579千円増加したが、収支率が69.2%(-3.0)に減少した。 申請番号17は、経常収益が2,899千円増加したが、収支率が77.8%(+3.4)に増加した。 申請番号18は、経常収益が3,622千円減少した為、収支率が62.1%(-5.6)に減少した。 申請番号19は、経常収益が1,067千円増加したが、収支率が60.0%(-2.5)に減少した。 申請番号20は、経常収益が4,720千円減少した為、収支率が38.6%(-8.3)に減少した。 申請番号21は、経常収益が1,498千円増加したが、収支率が65.8%(-2.5)に減少した。	【今後の方向性】 より多くの方に交通系ICカードシステムをPRし、幅広く周知を図る。
	13	堀防府駅前	堀	和字	防府駅前			
	14	県庁前新山口駅	県庁前	西京橋	新山口駅			
	15	スポーツの森前新山口駅	スポーツの森前	西京橋	新山口駅			
	16	宮野温泉新山口駅	宮野温泉	西京橋	新山口駅			
	17	道の駅仁保の郷新山口駅	道の駅仁保の郷	宮野温泉・西京橋・県庁	新山口駅			
	18	県庁前秋穂荘	県庁前	西京橋・新山口駅・長浜	秋穂荘			
	19	県庁前新山口駅	県庁前	西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手	新山口駅			
	20	新山口駅東萩駅前	新山口駅	大田	東萩駅前			
	21	新山口駅秋芳洞	新山口駅	十文字	秋芳洞			

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	宇部市交通局
------	--------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考
						計画	取組実績	
山口市公共交通委員会	1	新山口線(特急)	宇部新川駅	山口宇部道路	新山口駅	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを活用した利用促進策の実施(デジタルサイネージの追加導入) ・ICカードシステムを活用した利用促進策の実施 ・JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売 <p>【実施主体】 宇部市交通局</p> <p>【効果目標】 収支改善率 1.0%(参考R5年度収支率 56.0%)</p>	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」について、宇部市役所庁舎のサイネージを、新たに竣工したバス停付近の新庁舎に移設し、利便性の向上を図った。 ・ICカード利用促進のため、「高齢者向けバス乗り方教室」を実施し、高齢者のICカード利用率向上に取り組んだ。 <p>【取組効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」アクセス数 令和6年10月～令和7年9月 153,410件 一日平均アクセス数 420件/日(昨年度 456件/日) ・ICカード実績(R7.9月時点) 利用率 41.1%(前年同月41.9%) <p>【系統の収支改善率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善率 ▲7.8% 収入▲4,769千円 費用▲1,606千円 ・R7年度収支率 48.2% 	
山口市公共交通委員会	2	新山口線	宇部新川駅	東岐波商業団地前・サンパークあじす	新山口駅	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを活用した利用促進策の実施(デジタルサイネージの追加導入) ・「宇部市地域公共交通利便増進実施計画」による等間隔運行の実施 ・ICカードシステムを活用した利用促進策の実施 ・JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売 <p>【実施主体】 宇部市交通局</p> <p>【効果目標】 収支改善率 1.0%(参考R5年度収支率 77.8%)</p>	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」について、宇部市役所庁舎のサイネージを、新たに竣工したバス停付近の新庁舎に移設し、利便性の向上を図った。 ・ICカード利用促進のため、「高齢者向けバス乗り方教室」を実施し、高齢者のICカード利用率向上に取り組んだ。 <p>【取組効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」アクセス数 令和6年10月～令和7年9月 153,410件 一日平均アクセス数 420件/日(昨年度 456件/日) ・ICカード実績(R7.9月時点) 利用率 41.1%(前年同月41.9%) <p>【系統の収支改善率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善率 ▲9.1% 収入+577千円 費用+1,777千円 ・R7年度収支率 68.7% 	
山口市公共交通委員会	3	阿知須線	宇部新川駅	今村	サンパークあじす	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステム導入の継続(デジタルサイネージの追加) ・「宇部市地域公共交通利便増進実施計画」による等間隔運行の実施 ・ICカードシステムを活用した利用促進策の実施 ・JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売 <p>【実施主体】 宇部市交通局</p> <p>【効果目標】 収支改善率 1.0%(参考R5年度収支率 82.4%)</p>	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」について、宇部市役所庁舎のサイネージを、新たに竣工したバス停付近の新庁舎に移設し、利便性の向上を図った。 ・ICカード利用促進のため、「高齢者向けバス乗り方教室」を実施し、高齢者のICカード利用率向上に取り組んだ。 <p>【取組効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」アクセス数 令和6年10月～令和7年9月 153,410件 一日平均アクセス数 420件/日(昨年度 456件/日) ・ICカード実績(R7.9月時点) 利用率 41.1%(前年同月41.9%) <p>【系統の収支改善率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善率 ▲32.6% 収入▲5,591千円 費用+2,829千円 ・R7年度収支率 49.8% 	
山口市公共交通委員会	4	阿知須線	宇部新川駅	山口宇部医療センター・ミスターマックス宇部店	サンパークあじす	<p>【取組内容及び実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを活用した利用促進策の実施(デジタルサイネージの追加導入) ・「宇部市地域公共交通利便増進実施計画」による等間隔運行の実施 ・ICカードシステムを活用した利用促進策の実施 ・JAL及びANAのMaaSサービスを活用したデジタルチケットの販売 <p>【実施主体】 宇部市交通局</p> <p>【効果目標】 収支改善率 1.0%(参考R5年度収支率 63.7%)</p>	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」について、宇部市役所庁舎のサイネージを、新たに竣工したバス停付近の新庁舎に移設し、利便性の向上を図った。 ・ICカード利用促進のため、「高齢者向けバス乗り方教室」を実施し、高齢者のICカード利用率向上に取り組んだ。 <p>【取組効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うべバスナビ」アクセス数 令和6年10月～令和7年9月 153,410件 一日平均アクセス数 420件/日(昨年度 456件/日) ・ICカード実績(R7.9月時点) 利用率 41.1%(前年同月41.9%) <p>【系統の収支改善率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善率 ▲5.0% 収入+1,048千円 費用+5,711千円 ・R7年度収支率 58.7% 	

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名 JRバス中国株式会社

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績 (令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起 点	主 な 経 由 地	終 点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備 考	対6年度比 収入増減額	対6年度比 費用増減額	R6年度 収支率	R7年度 収支率
						計 画	取 組 実 績					
山口市 公共交通 委員会	5	D74	山口駅	昭和町・ゆめタウン 山口	防府駅	【取組内容及び実施時期】 ICカード導入による利用促進、学期休み中の子ども50円バスの実施により、バスの利用促進を図る。	【取組実績】 市が発行する時刻表に交通系ICカードシステム(ICOCA)利用方法を掲出し、リーフレットやチラシ配布等を実施し、学期休み中の子ども50円バス実施の周知を行うことでバスの利用促進に繋がった。その他、イベント開催時の迂回情報を当社HPに掲載することで利便性の向上を図った。	【今後の方向性】 引き続き関係行政など地域との連携を図り、バスの乗り方や運行情報提供を行い、公共交通への転嫁を促すことで、恒常的なバス利用に繋げる。	5,743,959	1,504,692	26.5	44.1
	6	D77	防府駅	ゆめタウン山口・県 庁・湯田温泉通	中尾口	【実施主体】 JRバス中国株式会社			△ 8,192,275	△ 22,187,960	41.1	39.9
	7	D109	防府駅	ゆめタウン山口・県 庁・湯田温泉通	山口大学	【効果目標】 各運行系統の収支率を1%以上改善する。()は令和5年度実績収支率【 】は令和6年度実績収支率 申請番号5 45.1%(43.8%)【26.5%】 申請番号6 43.8%(42.5%)【41.1%】 申請番号7 56.5%(54.8%)【47.8%】 申請番号8 25.8%(24.6%)【23.7%】	【取組効果】 各運行系統の収支率は以下の通り。 申請番号5 44.1% 申請番号6 39.9% 申請番号7 50.7% 申請番号8 27.5%		△ 67,547,843	△ 131,941,863	47.8	50.7
	8	D127	山口駅	県庁・野田・明倫セ ンター	東萩駅				60,986,017	33,233,163	23.7	27.5

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名を持って記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績欄には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。